

平成24年(2012年)3月期 第2四半期決算



現況と今後の展望(業績説明会資料)



(ラウンドワン モレラ岐阜店：岐阜県本巣市)

2011.9.17 OPEN!

株式会社ラウンドワン

代表取締役社長 杉野 公彦

東証・大証 市場第一部

Code Number: 4680

2011年11月10日

2012年3月期 第2四半期 連結決算の概要



		単位	2011年3月期 2Q (2010.4~2010.9) 前2Q累計期間実績	2012年3月期 2Q (2011.4~2011.9) 当2Q累計期間実績	増減
店舗	期末店舗数	店舗数	107	110	+3
	期中店舗稼働月数	月数	633	654	+21

(単位未満は切り捨て表示)

損益 (PL)	ボウリング	億円	150	165	+14
	アミューズメント	億円	174	189	+14
	カラオケ	億円	32	41	+9
	スポッチャ	億円	43	47	+3
	その他	億円	13	16	+2
	総売上	億円	415	459	+44
	営業利益	億円	54	93	+38
	経常利益	億円	31	69	+38
	売上高経常利益率	%	7.5%	15.1%	+7.6%
	四半期純利益	億円	55	24	+79

四半期純利益の計算式：

【前四半期】

経常利益31.1億円 - 特別損失121.0億円 + 法人税等による調整額34.8億円 = 四半期純利益 55.0億円

特別損失の内訳・・・資産除去債務費用31.7億円、出店計画変更損失88.0億円、その他アミューズメント基板の除却等1.3億円

【当四半期】

経常利益69.5億円 - セールアンド・リースバックによる損失23.8億円 - その他アミューズメント基板の除却等2.0億円 - 法人税等による調整額19.2億円

= 四半期純利益24.3億円

2012年3月期 第2四半期連結決算の分析



(単位:億円 単位未満は切り捨て表示)

		2012年3月期2Q (2011.4~2011.9) 当初計画	2012年3月期2Q (2011.4~2011.9) 実績	差額	備考
損益	ボウリング	162	165	+3	【経常利益の計画差の要因】 計画額 47億円 ・売上の増加 +15億円 ・リース料の減少 +7億円 ・広告宣伝費の増加 1億円 ・その他 +1億円 実績額 69億円
	アミューズメント	184	189	+5	
	カラオケ	38	41	+3	
	スポッチャ	45	47	+2	
	その他	15	16	+1	
	総売上	444	459	+15	
	売上原価	365	357	7	
	売上総利益	79	102	+23	
	販売費及び一般管理費	9	8	0	
	営業利益	70	93	+23	
	営業外損益	23	24	1	
	経常利益	47	69	+22	
	売上高経常利益率	10.6%	15.1%	+4.5%	
	特別損益	2	25	23	
税引前四半期純利益	45	43	1		
法人税等調整額	20	19	1		
四半期純利益	24	24	0		

2012年3月期 連結四半期 実績と計画



2012年3月期 (2011年4月～2012年3月)

(単位: 億円 単位未満切り捨て表示)

	第1四半期			第2四半期			上期		
	当初計画	実績	差額	当初計画	実績	差額	当初計画	実績	差額
総売上	213	222	+8	230	237	+7	444	459	+15
売上原価	177	175	2	187	182	4	365	357	7
売上総利益	36	46	+10	42	55	+12	79	102	+23
販管費	4	3	0	4	4	0	9	8	0
営業利益	31	43	+11	38	50	+12	70	93	+23
営業外損益	12	11	+1	10	13	2	23	24	1
経常利益	19	31	+12	27	37	+9	47	69	+22
売上高経常利益率	9.0%	14.3%	+5.3%	12.1%	15.9%	+3.8%	10.6%	15.1%	+4.5%
特別損益	1	0	+0	1	25	24	2	25	23
税引前当期純利益	18	31	+13	26	11	14	45	43	1
法人税等	8	13	+5	11	5	6	20	19	1
当期(四半期)純利益	10	18	+7	14	6	8	24	24	0
既存店売上高前年比(国内)	+3.1%	+7.2%	+4.1%	+1.0%	+4.2%	+3.2%	+2.0%	+5.7%	+3.7%

	第3四半期 修正後計画	第4四半期 修正後計画	下期 修正後計画	通期 修正後計画
総売上	204	230	435	895
売上原価	182	177	359	717
売上総利益	22	53	75	178
販管費	4	4	9	18
営業利益	17	48	66	160
営業外損益	12	13	25	50
経常利益	5	35	40	110
売上高経常利益率	2.6%	15.3%	9.3%	12.3%
特別損益	1	23	24	50
税引前当期純利益	4	12	16	60
法人税等	1	5	7	27
当期(四半期)純利益	2	6	8	33
既存店売上高前年比(国内)	2.5%	1.9%	2.2%	+1.7%

【連結】通期業績予想の修正内容 (2011年11月10日発表)

	修正前	修正後	増減額	増減率
売上高	880億円	895億円	+15億円	+1.7%
営業利益	125億円	160億円	+35億円	+28.0%
経常利益	80億円	110億円	+30億円	+37.5%
当期利益	33億円	33億円		

下期におけるセール・アンド・リースバックの影響による特別損失の発生を上期並みに見込んでいるため、当期利益は変更してありません。

なお、セール・アンド・リースバックが成立した際は、損益に与える影響も含めて、随時開示する予定です。

2012年3月期 連結計画 出店と損益



(単位未満は切り捨て表示)

		単 位	2011年3月期 実績	2012年3月期 修正後計画	増 減
店 舗	新規出店数	店	4	1	3
	総店舗数(期末)	店	109	110	+1
	総店舗稼働月数	月数	1,275	1,314	+39
損 益	ボウリング	億円	310	325	+14
	アミューズメント	億円	352	368	+15
	カラオケ	億円	67	81	+13
	スポッチャ	億円	87	90	+2
	その他	億円	26	31	+4
	総売上	億円	843	895	+51
	営業利益	億円	114	160	+45
	経常利益	億円	69	110	+40
	売上高経常利益率	%	8.2%	12.3%	+4.1%
	当期純利益	億円	126	33	+159

2012年3月期の新規出店・・・2011年9月17日オープン『モレラ岐阜店』（岐阜県本巣市三橋 モレラ岐阜内）

当期純利益の計算式：

【2011年3月期実績】

経常利益69.2億円 - 特別損失272.8億円 + 法人税等による調整額76.7億円 = 当期純利益 126.7億円

特別損失の内訳・・・過年度の資産除去債務費用の全額（31.7億円）、出店形態の変更を含む減損損失（232.4億円）、災害損失（3.6億円）、その他アミューズ基盤の除却等（4.9億円）

【2012年3月期修正後計画】

経常利益110.0億円 - セールアンドリターンによる損失46.0億円 - その他アミューズ基盤の除却等4.0億円 - 法人税等による調整額27.0億円 = 当期純利益33.0億円

2012年3月期 連結計画

キャッシュ・フロー



(単位未満は切り捨て表示)

		単位	2011年3月期 実績	2012年3月期 修正後計画
資金	当期純利益	億円	126	33
	法人税等調整額	億円	76	27
	配当金額	億円	17	20
	増資（新株予約権付社債による株式転換を含む）	億円	81	
	減価償却費（リース取引除く）	億円	93	75
	簡易キャッシュフロー	億円	45	115
	設備投資額	億円	61	20
	既存店舗の売却に伴う資金の増加	億円		70
	簡易フリーキャッシュフロー	億円	106	165
	現預金残高	億円	227	224
	有利子負債残高	億円	1,361	1,193
	実質有利子負債残高	億円	1,133	969

2012年3月期の設備投資額の概算内訳

- ・約 2億円 …… 梅田店（2011年3月にオープンしましたが、支払いは2011年4月となりました。）
- ・約 8億円 …… 千日前店(大阪市中央区難波：2012年春頃オープン予定)
- ・約10億円 …… 既存店舗（一部の改装やアミューズメント基板（キット）購入他）
町田店を含めたセール・アンド・リースバックによるものです。

店舗数・損益状況と既存店売上前年比の推移(連結)



店舗・損益の推移

	2006年3月期	2007年3月期	2008年3月期	2009年3月期	2010年3月期	2011年3月期	2012年3月期 修正後計画
期中出店数	11	15	11	13	11	4	1
期中退店数	0	0	1	2	0	0	0
期末店舗数	58	73	83	94	105	109	110

(億円未満は切り捨て表示)

売上高	502億円	658億円	779億円	779億円	821億円	843億円	895億円
営業利益	127億円	179億円	182億円	136億円	120億円	114億円	160億円
経常利益	134億円	163億円	159億円	97億円	78億円	69億円	110億円
経常利益率	26.7%	24.9%	20.5%	12.6%	9.6%	8.2%	12.3%
当期純利益	119億円	97億円	91億円	39億円	33億円	126億円	33億円

(注) 2006年3月期は連結財務諸表を作成していないため、非連結額を記載しております(2007年3月期以降は連結額を記載)。

既存店売上前年比の推移

	2006年3月期	2007年3月期	2008年3月期	2009年3月期	2010年3月期	2011年3月期	2012年3月期 修正後計画
ボウリング	+19.4%	+7.1%	+1.4%	6.5%	4.0%	3.7%	+0.5%
アミューズメント	+11.5%	+0.1%	6.8%	10.8%	9.8%	+0.0%	+0.1%
カラオケ	4.5%	+4.0%	1.2%	7.3%	13.1%	+3.4%	+14.1%
スポッチャ	-	-	16.1%	9.8%	9.2%	4.5%	+2.9%
その他	11.3%	9.2%	+13.2%	+11.4%	3.9%	14.5%	+1.5%
総売上	+11.6%	+2.0%	4.0%	8.5%	7.7%	2.2%	+1.7%

(注) 既存店売上前年比推移には、米国内の1店舗は含まれておりません。

2012年3月期計画は期初の計画より修正しております(2011年11月10日開示)。

既存ローンの借り換えと資産等の推移(連結)



既存ローンの借り換え

	2009年3月期 実績	2010年3月期 実績	2011年3月期 実績	2012年3月期 予定	2013年3月期 予定	2014年3月期 予定
期中借り換え額	約110億円	約128億円	約159億円	約308億円	約105億円	約227億円
進捗状況	全額借り換え済み	全額借り換え済み	全額借り換え済み	(注) 参照	既存借入先を中心に交渉予定	既存借入先を中心に交渉予定

(注) 上記借り換え額は、当社グループ全体の金額です(連結子会社を含む)。

2012年3月期の借り換え額(約308億円)の進捗状況 約96億円(借り換え完了)、約170億円(金融機関と合意済み)、約42億円(リファイナンス実績のある既存金融機関と交渉中)。なお2013年3月期の借り換え額のうち約37億円は、2012年3月期に前倒して借り換えを終えております。

2014年3月期の借り換え額(約227億円)には、メインバンクである三井住友銀行が組成し、その大部分の融資を実行したシンジケート・ローン(約162億円)を含んでおります。

資産等の推移

	2007年3月期 実績	2008年3月期 実績	2009年3月期 実績	2010年3月期 実績	2011年3月期 実績	2012年3月期 修正後計画
総資産	1,663億円	1,763億円	2,160億円	2,512億円	2,521億円	2,392億円
純資産	618億円	696億円	723億円	856億円	790億円	803億円
株主資本比率	37.2%	39.5%	33.5%	34.1%	31.3%	33.6%
現預金残高	288億円	229億円	215億円	308億円	227億円	224億円
有利子負債残高	939億円	985億円	1,179億円	1,388億円	1,361億円	1,193億円
実質有利子負債残高	651億円	755億円	963億円	1,080億円	1,133億円	969億円

リース債務	258億円	268億円	271億円	259億円	284億円	270億円
保証債務	31億円	409億円	419億円	318億円	82億円	

(注) 保証債務とは、子会社にて調達した開発期間中のローンに対してラウンドワンが連帯保証するものです。これらは店舗のオープン時期にローンが返済されるため、保証債務は無くなりますが、通常は長期ローンに切り替わる事により、有利子負債に計上されます。

2012年3月期計画には、開示済みのものを除き、現在計画及及び想定される既存店舗のセール・アンド・リースバックによる有利子負債の減少額を織り込んでおりません。これらが成立した際には、更に有利子負債の減少が見込まれます。

2012年3月期計画の保証債務は、千日前店のセール・アンド・リースバックにより無くなりました。

BS: 有利子負債の削減

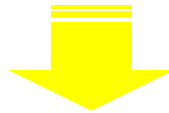
セール・アンド・リースバックの活用

既存の店舗資産（土地・建物）を売却と同時に
賃借へ切り替える方法を活用

有利子負債返済額	年間	200億円前後
約定返済額	年間	100億円前後

（減価償却費相当）

合計300億円前後の年間返済



概ね向こう5年(2016年3月末)までに実質無借金体制へ

売却損が発生した場合

デメリット

- ・会計上の特別損失が発生するため、当期純利益が減少する。（税効果の影響により、キャッシュ・フローではプラス面も）
- ・借入金返済時に、手元資金の流出を伴う可能性

メリット

- ・借入返済により賃借料（金利負担）が軽減され、店舗収支の改善により営業利益が増加

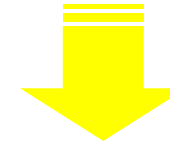
PL: 経常利益200億円へ向けて

2016年3月期までに経常利益200億円体制

ファイナンスリース料が自動的に軽減

当社ではボウリングレーン、アミューズメント機器、カラオケ設備等をリース契約しております。これらのリース期間は、約3年（ボウリングのみ7年）で、期間経過後の再リース料は、約12分の1に軽減されます。その結果、4年目（37ヵ月目）以降のリース料は、追加投資を考慮しても大きく減少し、スタジアム店舗で約1億円、スタンダード店舗で約9千万円の年間コストが自動的に低減されます。

賃借料（支払利息相当）の費用負担が軽減
各店舗の売上が現状と同水準で推移
繁華街店舗を含めた新店の収益



2016年3月までに早期の経常利益200億円体制を目指す

ボウリング

「NMB48」とのコラボ

人気アイドルユニット「NMB48」を新曲「オーマイガー！」と共にCMキャラクターとして起用。



「ONE PIECE」とのコラボ

がんばれ！ぼうりんぐ番長！

- ONE PIECE コラボ番長大会
- ONE PIECE 新キャラクターの登場

ムーンライトストライクゲーム・2回来店プレゼント

- ONE PIECE や ハローキティ のオリジナルグッズをプレゼント
(毎月デザインが変わる)

ネットワーク対戦ボウリング

カードホルダー数 約294万人(2011年10月末現在)

- 約6万/月のペースで増加中



©尾田栄一郎／集英社・フジテレビ・東映アニメーション

アミューズメント

「ONE PIECE」とのコラボ

ラウンドワンだけのオリジナルプリントシール機



©尾田栄一郎/集英社・フジテレビ・東映アニメーション

メダルスペシャルパック

- ・ボウリング・カラオケ・スポッチャのご利用後にメダルをフロントで借りるとONE PIECEグッズをプレゼント

話題の新型機種を導入予定

Star Horse3 (セガ)

11月下旬より全100店舗へ導入開始

湾岸ミッドナイト MAXIMUM TUNE4 (ナムコ)

今冬 全店に導入予定

ヴィーナス ファウンテン (コナミ)

ロケテストを実施

カラオケ

「キラ キラ カラドル伝説」

ラウボケへ入会すれば無料で利用可能



「ONE PIECE」とのコラボ

ONE PIECEルーム

- ・カラオケルーム設置の全店舗に導入

キラ キラ カラドル伝説

- ・ONE PIECE のキャラクターが9人より選択可能に

最新機種を全店舗に導入

- ・人気機器のCROSSO (エクシング)、LIVE DAM (第一興商) のどちらかを全カラオケルームの3分の2に導入済み。

今後の出店



2012年3月期オープン店舗

オープン日	店舗名	店舗タイプ	ロケーション
2011年 9月17日	モレラ岐阜店	スタンダード	大型ショッピングモール『モレラ岐阜』内

『モレラ岐阜』（2006年4月オープン・当時日本最大級）

敷地面積約185,000m²・延床面積115,800m²・店舗数約240店舗の巨大ショッピングモール

2012年4月以降の計画店舗

オープン予定時期	店舗名 / 出店予定地域	店舗タイプ
2012年 春頃	千日前店 (大阪市中央区難波 千日前通り沿い)	スタジアム(スポッチャ含む)・繁華街
2012年 春頃	東京23区内	スタジアム(スポッチャ含む) ・ロードサイド(大型複合施設内)
2012年 冬頃	池袋店 (池袋駅東口 サンシャイン60通り沿い)	スタンダード・繁華街

【注意】

- ・オープン時期及び店舗名は、諸事情により変更される場合があります。
- ・2012年4月以降の計画店舗については、予告なしに出店を中止・変更する可能性があります。
- ・上記以外への新規出店は原則として凍結して財務体質の強化を図りますが、デベロッパー側にて内装を含めた初期投資額の大部分を負担頂ける場合は、首都圏の大型ショッピングモール内や十分な収益が見込める物件に限り出店する可能性があります。

アメリカのボウリング市場とラウンドワンの展開



アメリカのボウリング市場

市場規模	約70億ドル（約5,600億円；US\$=¥80） 日本の約6.7倍の市場規模
センター数	約5,350センター（民営：約4,800センター / その他（軍・教会等：約550センター）
レーン数	約111,000レーン
参加人口（1年に1回以上ボウリングをする人口）	約7,100万人

大手2社が400店舗、準大手が50店舗程度で、その他のほとんどは家族経営である。

不況時に強く、ここ数年間は安定成長を続けている。

古いタイプのボウリング場は年々閉鎖され、ボウリング以外のアイテム（ゴーカート、アーケードゲーム、ミニゴルフ等）で複合化された店舗が年間20～50店舗建設されている。

他のレジャー（ゴルフ、釣り、テニス、ビリヤード、サイクリング、ローラースケート、アイススケート、マラソン）に比べて参加率が非常に高い。

身近な社交の場として、平均所得者以上の層の利用割合が増えている。

ラウンドワンの展開

< 2010年8月ロサンゼルス「プエンテ ヒルズ モール店」を出店 >

ボウリングを中心とした複合施設は他に例が無く、1つの施設内でいろいろな「遊び」が出来る。

料金体系が分かりやすい（各アイテムが20ドル以下で遊べる）

アミューズメントが非常に好調

- ・日本からの最新ゲーム機を導入。

- ・クレーンゲームの景品は、米国内の小売店でも購入出来ない限定品を提供しており、高単価を維持。

来年夏頃に2号店をオープン予定。また来期中に3号店・4号店の出店も検討中。

1店舗当たり約5億円の設備投資額を見込んでおり、来期に必要な上記3店舗の設備投資額（約15億円）は手元資金の充当とファイナンス・リースの活用を計画。



2012年3月期 全社売上と既存店前年比の実績と計画



全社売上 実績と計画 (連結ベース)

(単位未満は切り捨て表示)

	単位	第1Q	第2Q	上期	第3Q	第4Q	下期	通期
		実績	実績	実績	修正後計画	修正後計画	修正後計画	修正後計画
ボウリング	億円	81	83	165	71	88	159	325
アミューズメント	億円	90	98	189	88	89	178	368
カラオケ	億円	19	21	41	19	20	39	81
スポッチャ	億円	22	25	47	17	24	42	90
その他	億円	7	8	16	7	7	14	31
総売上	億円	222	237	459	204	230	435	895



既存店売上前年比 実績と計画 (単体ベース)

(小数第2位を四捨五入)

	単位	第1Q	第2Q	上期	第3Q	第4Q	下期	通期
		実績	実績	実績	修正後計画	修正後計画	修正後計画	修正後計画
ボウリング	%	+6.0	+3.5	+4.7	3.9	3.0	3.4	+0.5
アミューズメント	%	+5.8	+1.1	+3.3	3.5	2.6	3.0	+0.1
カラオケ	%	+22.9	+18.6	+20.6	+8.4	+7.5	+7.9	+14.1
スポッチャ	%	+7.9	+8.8	+8.4	3.0	2.4	2.7	+2.9
その他	%	+0.4	+4.0	+2.2	+0.6	+0.7	+0.6	+1.5
総売上	%	+7.2	+4.2	+5.7	2.5	1.9	2.2	+1.7



2012年3月期計画は期初の計画より修正しております(2011年11月10日開示)。

店舗の状況



出退店の推移

	出店数	退店数	期末 総店舗数	期末総店舗数の内訳			
				スタンダード		スタジアム	
				繁華街	ロードサイド	繁華街	ロードサイド
～2004年3月期	45	4	41	7	34	-	-
2005年3月期	6	0	47	8	34	-	5
2006年3月期	11	0	58	8	34	-	16
2007年3月期	15	0	73	8	34	-	31
2008年3月期	11	1	83	8	34	-	41
2009年3月期	13	2	94	7	45	-	42
2010年3月期	11	0	105	7	55	-	43
2011年3月期	4	0	109	8	58	-	43
2012年3月期	1	0	110	8	59	-	43

2008年3月期に退店した『富士店』は、翌2009年3月期に同じ場所に完全に建て替えを行い、リニューアルオープンしております。

2011年3月期の出店数4には、アメリカ・ロサンゼルス店舗を含んでおります。

エリア別店舗数（2011年10月末現在）

出店エリア	北海道・東北	北陸・甲信越	関東	中部・東海	関西	中国・四国	九州・沖縄	アメリカ	合計
店舗数	10	4	32	14	30	8	11	1	110
シェア	9.1%	3.6%	29.1%	12.7%	27.3%	7.3%	10.0%	0.9%	100.0%

各種お知らせとIRに関するお問い合わせ先



本資料取扱上のご注意

本資料は投資の勧誘を目的としたものではありません。また、本資料により被った全ての損害について、当社及び当社の情報提供者は一切の責任を負いません。なお、本資料は作成日現在の情報をベースにしており、その作成には細心の注意を払っておりますが、その内容についてその実現を保証するものではなく、万が一内容に誤りがあった場合においても、当社及び当社の情報提供者は一切の責任を負いません（万が一、数値等に誤りを発見した場合には、ホームページ上にて訂正させていただきます）。本資料のいかなる部分も一切の権利は株式会社ラウンドワンに帰属しており、いかなる目的であれ無断で複製又は転送等を行わないようお願いいたします。

IR方針(サイレンス期間)について

弊社では、投資家の皆様への公平を期するため、原則として決算発表（四半期決算を含む）の約2週間前よりIRに関する取材をご遠慮頂いております。ただし、事業に関する基本的な内容、過去に発表済の内容、及び現在進行中のイベントや企画に関するお問い合わせや取材等はお受けいたします。以上、皆様のご協力とご理解をよろしくお願い申し上げます。

ホームページへのアクセス先

【PC用ホームページ】

<http://www.round1.co.jp> もしくは

【携帯用ホームページ】（お客様用/IR情報等なし）

- ・ docomo <http://www.round1.co.jp/mobile/>
- ・ Soft Bank <http://www.round1.co.jp/mobile/>
- ・ au <http://www.round1.co.jp/mobile/>



携帯電話からの携帯用ホームページへの接続料や通信料(パケット料)はお客様のご負担となりますので、ご注意願います。一部の機種では、モバイルサイトをご覧いただけない場合がございます。

お問い合わせ先：株式会社ラウンドワン 管理本部 (072)224-5115